



## 感染管理認定看護師履歴

- 1995年7月 国立病院東京災害医療センター開院  
救命救急病棟感染対策グループで主にMRSA対策に従事
- 2001～2002年 国立看護大学校研修部認定看護師教育課程で半年間の専門研修を受ける
- 2002年8月 感染管理認定看護師資格取得
- 2006年8月 感染管理専従業務に就く (病院機能評価受審)
- 2009年8月 多摩感染対策懇話会発足 現在に至る

## 多摩感染対策懇話会 発足のきっかけ1

- 孤軍奮闘する感染管理認定看護師
- ガイドラインの内容は理解できるけど、うちの病院には当てはまらないのでは？
- 回答を求めて様々な研修会、セミナーへ
- 研修会、セミナーで見かけた孤軍奮闘するICNたち
- 私たちは仲間になれないか？

3

## 多摩感染対策懇話会 発足のきっかけ2

- セミナー講師を引き受け、孤軍奮闘ICNたちに振り分け（コアなICN仲間の結成）
- セミナー後の質問やアンケートより、地域の医療施設における感染管理についての知識、実践力の不足を実感し、地域医療施設の看護師が私たちICNに助言を求めていることもわかった
- 複数の医療施設による交流会はICNにとっては互いの情報交換の場となり、一方、地域の医療施設へ情報提供ができて地域全体の感染管理もボトムアップ可能ではないか？

4

## 多摩感染対策懇話会

(通称：たまこん)

- ◆メンバー：看護師、薬剤師、臨床検査技師など（規定はないので感染対策に興味があれば誰でも参加可能）
- ◆参加施設、参加人数：講義内容などにより流動的
- ◆開催：毎月第1金曜日（都合により開催しない月もある）

5

## 感染対策懇話会活動

- 講義  
専門分野からの講義（ICN、薬剤師、臨床検査技師、感染症医 他）
- 意見交換会  
それぞれの施設から持ち寄った感染管理上の問題点を検討し、解決に導く。
- 情報提供  
ガイドラインの改訂、感染防止対策加算策定など新しい情報の提供
- 学会発表報告

6

## 多摩感染対策懇話会 目標と可能性

- 自施設の感染管理の問題を解決する  
施設相互の情報交換で解決の糸口が見つかったり、情報を共有することができる。
- ネットワークを構築し、相互に交流することで地域における感染管理のボトムアップを図る  
認定看護師だけでなく、一般の看護師、コメディカルなど感染対策に興味のある方には参加してもらい、自施設の感染対策の向上に役立ててもらおう。
- 感染防止対策加算に該当しない医療施設への支援

7

## ネットワーク構築の重要性

- 相談体制を確立できる。
- 他の医療施設と交流を図ることで自施設を客観的に評価することができ、感染対策の再構築ができる。
- 他の医療施設での感染対策事例やデータを参考にし、自施設の感染対策に活かすことができる。
- 医療関連感染や薬剤耐性菌の発生は、医療施設の性格に関係なく発生する。また患者も複数の医療施設を移動することがあるので、情報交換、協力体制などで地域での制圧も可能となる。

8